

学校の風景・・・・・・・・

特色ある取組＜特別支援教育の視点からの授業づくり＞

ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた 授業・学習環境づくり

北区 土呂中学校 教諭 大平 篤



1 はじめに

本校は平成28・29年度さいたま市教育委員会の委嘱を受け、「ユニバーサルデザイン（以下UD）の考え方を取り入れた授業づくり～生徒一人ひとりのニーズに応じた指導の充実～」と研究主題を定め、取り組んできた。

特別支援学級設置校という環境を生かし、特別支援教育の視点から、授業づくりや教室環境づくりにおけるUD化を進めてきた。通常学級に、どのように特別支援教育の視点を取り入れるかを考え、取り組んできた2年間の実践である。

2 具体的な取組と実践例

(1) 授業部会の取組

①「授業のUD化チェックリストの作成」

教師がUDを意識した授業をつくる際に拠り所とする5項目17観点のリストを作成した。また、そのアンケートを踏まえた「生徒用アンケート」を実施し、その結果を教員別に個票化して、授業改善に生かした。

項目	1	2	3	4
1 視覚				
2 聴覚				
3 身体機能				
4 認知機能				
5 心理・社会的				
6 視覚				
7 聴覚				
8 身体機能				
9 認知機能				
10 心理・社会的				
11 視覚				
12 聴覚				
13 身体機能				
14 認知機能				
15 心理・社会的				
16 視覚				
17 聴覚				
18 身体機能				
19 認知機能				
20 心理・社会的				

②「授業の流れカード」の作成

生徒に、1時間の見通しをもたせながら、今どの活動を行っているのかが一目で分かるように「授業の流れカード」を作成。全教室に設置し、授業で使用した。

③校内公開授業の実施

2学期に2回、2週間ずつ公開授業期間を設け、UDの視点で互いの授業を参観した。

(2) 学習環境部会の取組

①学習環境における「土呂中スタンダード」の設定（全普通教室で実施）

教室前面黒板上部は、各種目標のみの掲示。黒板左側ロッカーは、通常カーテンで目隠しを

した。黒板右側掲示板は、時間割や日課表など最低限の掲示物のみとした。教室後方黑板には、ホワイトボード（卒業記念品）を設置し、教科マグネット等も用意して、2日分の予定を書き込めるようにした。また、個人ロッカーの整理方法を統一し、良い例の写真が入ったマニュアルを教室後方に掲示した。



(3) 特別支援部会の取組

①「特別支援学級の弾力的運用制度」の共通理解を図る教師向けフローチャートの作成

②特別支援コーディネーター通信の発行

個に応じた支援方法について適宜最新の情報提供を行った。

③研修会（講演会）の実施

校内研修の他に、市教委から講師を招き、特別支援やUDについての研修を深めた。

(4) 体育部会の取組

①中学校体育授業研究会での授業発表

研究会会場校としての授業発表において、主体的な学び、個に応じた指導の充実のために、UDの視点を取り入れた授業を実施した。

3 終わりに

UDの視点を取り入れた授業づくりを研究することで、授業づくりに対する意識に変容が見られ、日常的な授業改善が促された。また、学習環境のスタンダードを統一したことにより、生徒にとって、授業には不要な視覚的の刺激が減り、より集中して授業に取り組む様子が見られた。

今後の課題として、生徒の実態をより詳しく把握し、個に応じた指導を充実させていくことと、教室内だけでなく、校内全体でUDを意識した環境づくりに取り組むことが挙げられる。